



タ ブ ラ                      ラ サ

# Tabula rasa



梅光学院大学

図書館サポーター 広報誌 第21号



## 目次

---

- P 3 POP 作り研修・オープンキャンパス研修
  - P 3～4 第6回大学図書館学生協働交流シンポジウム
  - P 5 ルーキス祭
  - P 5 図書館総合展 全国学生協働サミット
  - P 6 読書会 1月、11月
  - P 7～8 活動詳細
  - P 9～10 4年生～活動を振り返って～
  - P 11 編集後記
- 



## はじめに

このたびは、本誌を手にとっていただき、誠にありがとうございます。第21号では、私たち図書館サポーターの2015年12月から2016年11月までの活動を掲載いたします。読者の皆様に、私たちの活動について興味を持っていただければ幸いです。

最後に、梅光学院大学の司書の皆様、ならびに活動にご協力いただいた方に、この場をお借りして厚く感謝申し上げます。

## 図書館サポーターとは

図書館サポーターとは、学生目線で図書館をよりよくしていこうと活動する、梅光学院大学図書館のボランティア団体です。主な活動は、本のPOP（キャッチコピーやイラスト、説明文を載せた広告）を作っての展示やオープンキャンパスでの図書館案内など、図書館のPRやサポートを日々行っています。

活動内容は、年々変化していますが、図書館利用者一人ひとりが居心地のいい図書館だと感じていただけるよう、活動に励んでいます。

**理念** 図書館と人を育てる  
**目標** 図書館や大学の役に立つ  
 活動を通して成長を目指す  
 隣人を自分のように愛す  
 （マルコによる福音書12章31節より）

## ライブラリアン13世

梅光学院大学図書館公式キャラクター、  
通称、ライちゃん。

地球から遠く離れたライブラリアン星からやってきた偉大なる王？

私たちサポーターの大切な仲間です。

諸説では妖精、神とも呼ばれている……

そのたくわえたひげのごとくふわふわした存在。



## ＊ 活動紹介



### 2016.5/10 POP作り研修、5/24 オープンキャンパス研修

2016年度、計18名もの新入部員を迎えるにあたり、部員のさらなる能力の向上のため研修会を開きました。

#### ▼本のPOP作り研修会

今まではサポーター個人の感覚に任せていました。しかし、研修会では、先輩のサポーターがPOP作りを教え、個性的なPOP棚が完成☆

簡単にキャッチコピーを考え、本の見どころを見つける今回の経験を、次の活動に生かしてほしいです。



#### ▼オープンキャンパス研修

大学のオープンキャンパスでは、大学図書館を高校生やその保護者の方に案内する活動を行っています。まだ入学して間もない新入生に、大学図書館の特徴やアピールポイントを伝授し、まず、どこにどんな本があるか知ってもらいました。

そして、6/12にあるオープンキャンパスから、さっそく図書館案内に挑戦しました。新入生にもオープンキャンパスに参加してもらうことで、年9回のこの活動も分担して行い、高校生やその保護者の方に喜んで頂くことができました。



### 第6回大学図書館学生協働交流シンポジウム IN 香川

第6回のシンポジウムは、香川大学で開催されました。33大学図書館から143名の学生・教職員が参加し、『考えよう！大学図書館学生協働の未来』というテーマのもと、交流を深めました。



#### 1日目 >>9/15

講演「エンターテインメントの現場から学ぶ学生協働」  
ポスターセッション  
交流会

#### 2日目 >>9/16

ワークショップ「チキチキ！学生協働企画・プレゼンバトル 2016」



## 講演「エンターテインメントの現場から学ぶ学生協働」

講師に元宝塚歌劇団プロデューサーの森下信雄さんを迎え、お話を聴きました。物が売れにくくなった時代でコミュニケーションそのものを売る、ファンコミュニティについて。居心地のよいコミュニティである第4空間に存在価値を見つける。

図書館はこれから発信していく側になる、ということをお話されました。

## >>ポスターセッション

この一年の活動を夏休みに作成したポスターと共に、参加者へ説明しました。また、他大学のポスターを見て回り、情報交換やお互いの活動を知る貴重な機会でした。



## チキチキ！学生協働企画・プレゼンバトル2016

図書館での企画に挑戦してみようというものです。A~Lのグループに分かれ企画を考え、大判用紙にまとめプレゼンしました。1つのテーブルに学生、大学院生、職員が集まり、ユニークな意見や現実的な職員さんのアドバイスもありました。

見事、多数の票を集め1位に輝いたのは、Eグループの「trick or borrow！本を借りなきやイラズラするぞ」です。アイデアも良かったのですが、素晴らしいプレゼンでした。

## >>ふりかえり

シンポジウムに参加し他大学の活動を参考にして、今後挑戦してみたいと思いました。特に、今までなかった図書館サポーターの理念・目標をつくるべきだと感じ、その後作成しました。また、他サークル、子ども学部とのコラボレーション企画や広報活動の課題が挙げられました。





## 2016.11/5. 6 ルーキス祭<<

今年の大学祭では古本市と、チュロス(シナモン、ココア、シュガー)の販売をしました。

《古本市》

多くの学生と先生方、職員の皆様の古本のご提供のおかげにより大盛況でした！

その節は、ありがとうございました m(\_ \_)m

売り上げの一部は、大学のクリスマス献金として捧げました。

古本市はこれからも数年に一度くらいでできたらと思います。

《チュロス》

こちらも無事に完売いたしました！

サポーターの皆さん、調理販売などありがとうございました！

そしてご来場の皆さん、お買い上げありがとうございました！！！！



## >> 2016.11/10, 11 図書館総合展 全国学生共同サミット



全国の40大学(図書館)が集まり、それぞれの図書館、学生協働活動を発表しました。

その内、登壇したのは梅光学院大学を含め10校でした。私達も5名参加し、今年のシンポジウムまでの活動をパワーポイントとともに発表しました。

数々の有名大学が集い、大学祭で一箱古本市を企画した大学や、図書館に学内インターシップとして働く学生を紹介した大学もありました。

第一回ということで、手探りであるところもありましたが、次の回へつながるものになったのではないかと思います。

### 【参加大学一覧 (一部)】

- ・お茶の水女子大学附属図書館
- ・金城学院大学図書館
- ・皇學館大学附属図書館
- ・島根大学附属図書館
- ・帝京大学メディアライブラリーセンター
- ・広島修道大学図書館
- ・梅光学院大学図書館
- ・山口大学図書館
- ・東京大学附属図書館            など





## 2016 読書会<<

1月と11月に開催しました。どちらとも、ビブリオバトル風に5分内で本を紹介し、雑談を交えながら一番読みたいと思った本を投票で決めるというものです。

1月の読書会は朝の早い時間に関き、サポーター、学生、渡辺玄英先生の参加を得て、本好きが集まりました。チャンプ本(チャンピオンに輝いた本)が同点になってしまいましたが、自慢の本について、熱く語り合う会になりました。



第二回目となる、11月の読書会では、月曜日の放課後に図書館ホールで開きました。倉本先生をお呼びして、計5名の人におすすめの本について発表してもらいました。

そして、見事、チャンプ本に選ばれたのは、元副長植高さんの「たとえる技術(せきしろ著)」です。



なんとか年内二回の開催が実現しましたが、学生の授業状況や試験期間の配慮や参加者を集めるのが難しく、まだ課題が多いところです。

会では、お菓子とジュースを用意しているので、興味ある方は、今後の図サポのイベントに注目です！






## 活動詳細

2015年	
12月	熊野小学校でのポップ作り
	オープンキャンパス
	POP 棚作り

2016年	
1月	読書会
4月	学友会オリエンテーションで部員募集
5月	POP 作り研修
	グリーンカーテン作り
	オープンキャンパス研修
6月	オープンキャンパス
	新入生歓迎会
	POP 棚作り & しおりづくり



2016年	
7月	オープンキャンパス
8月	オープンキャンパス (計4回)
	シンポジウム ポスター制作
9月	オープンキャンパス
	第6回大学図書館学生協働交流シンポジウム@香川大学
10月	POP 棚作り
	オープンキャンパス
11月	大学祭 古本市・チュロス
	第1回全国学生共同サミット
	読書会
12月	オープンキャンパス
	礼拝発表 (シンポジウム・サミット報告)
	学内ファシリテーター研修に参加

 4年生～活動を振り返って～

この度は、本誌を手にとっていただきありがとうございます。一年間図書館サポーター長を務めました、田中と申します。

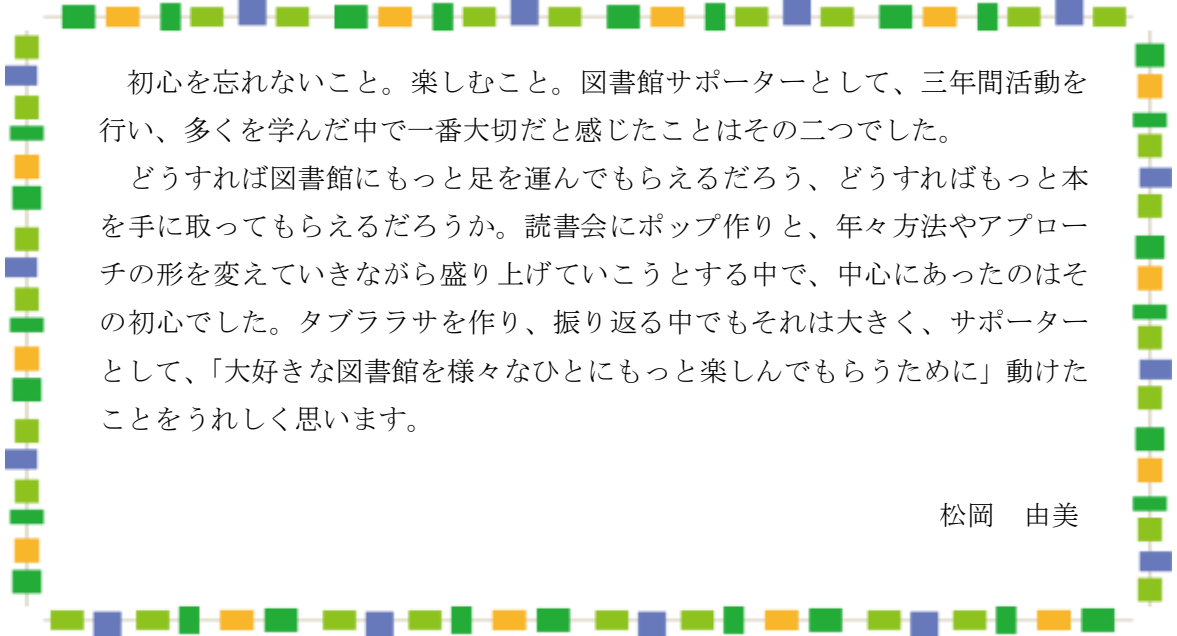
私が図書館サポーターに入ったのは、大学で図書館司書の資格を取りたかったため、それに関係ある活動に加わりたいという気持ちがあったからです。しかし、一年、二年と私はあまり活動に参加してきませんでした。そんな二年の後期から引き継ぎが始まり、私がサポーター長になることになりました。不慣れながら館長の富田さんと企画を考え、形にしていく内に、何も出来なかった私でも、努力次第で図書館やサポーター活動を良くしていけるんだ、と思えるようになりました。

サポーターのみんなとオープンキャンパスやシンポジウム、大学祭など沢山の活動や経験を積むことができて良かったと思います。司書の方々、先輩、後輩にはとても感謝しています。本当にありがとうございました。

図書館サポーター長 田中 章子

三年生になって先輩方から代を引き継ぎ、私は副部長を務めることになりました。その年のルーキス祭で古本とチュロス売ることになり、私はチュロスの担当をしましたが、その時にメンバーに指示を出す事と連携をとることの難しさを改めて痛感しました。その時に司書さんたちや同級生たち、後輩たちに協力してもらいながらチュロス売ることが出来ました。後輩たちはしっかりした子たちが多いので、心配ないとは思いますが、連携や協力し合いを大切にしていってほしいです。

図書館サポーター副長兼会計 三宅 由花



初心を忘れないこと。楽しむこと。図書館サポーターとして、三年間活動を行い、多くを学んだ中で一番大切だと感じたことはその二つでした。

どうすれば図書館にもっと足を運んでもらえるだろう、どうすればもっと本を手にとってもらえるだろうか。読書会にポップ作りと、年々方法やアプローチの形を変えていきながら盛り上げていこうとする中で、中心にあったのはその初心でした。タブララサを作り、振り返る中でもそれは大きく、サポーターとして、「大好きな図書館を様々なひとにもっと楽しんでもらうために」動けたことをうれしく思います。

松岡 由美



私は本が好きというだけで図書館サポーターに入りました。

学生協働交流シンポジウムや総合展では、他大学の方や他の図書館員の方と交流することで、様々な図書館の在り方を知り、大学図書館をより快適にするために考えるきっかけとなりました。

また、大学図書館でのテーマ展示棚作りでは、十進分類法に基づき、二か月に一回おすすめの本を探していく中で、これまで自分がいかに偏った分類の本ばかり読んでいたことを知りました。私にとって図書館サポーターは、様々な活動を通して視野を広げることのできる場所だったと思います。

藤田 千思

 編集後記

まずは、「Tabula・rasa」を読んでいただき、ありがとうございます。

「Tabula・rasa」の制作にあたり、今までの活動から自身を、図書館サポーターを客観的に見ることができました。地道な活動の積み重ねが、いつかきっと、役立ってくれると思います。

そして、私たちがこうして活動することができたのも、多くの人の支えがあったからです。この場を借りて改めて感謝の意を表したいと思います。

今後とも図書館サポーターを見守っていただけると幸いです。  
皆様のお声を是非、図書館サポーターにお聞かせください！



梅光学院大学図書館サポーター広報誌「Tabula・rasa」第21号

発行日：2017年8月22日

編集：梅光学院大学図書館サポーター

発行：梅光学院大学図書館サポーター